

石巻市震災復興基本計画

—最大の被災都市から世界の復興モデル都市石巻を目指して—

絆と協働の共鳴社会づくり

(参考資料編)

平成 23 年 12 月

石巻市

目次

1. 用語の説明.....	1
2. 津波遡上痕跡調査.....	5
3. 石巻市津波計画概略.....	6
4. 津波シミュレーション.....	7

1. 用語の説明

【あ行】

■ ICT

情報通信に関する技術の総称。「Information and Communication Technology」の略語。

■ アーカイブ

大規模な記録や資料の収集品。データ化保存と世界的な相互利用が図られるもの。

■ アドバイザー

忠告者。助言者。顧問。

■ 石巻トゥモロービジネスタウン

「産業創造都市圏いしのまき」をキーワードに、オフィス・アルカディア産業業務団地整備事業として、宮城県、石巻市が協力し中小企業基盤整備機構(旧:地域振興整備公団)が整備したものの。平成12年3月より分譲開始。

■ インフラ

交通、通信、電力、水道、公共施設など、社会や産業の基盤として整備される施設のこと。インフラストラクチャーの略語。

■ エコタウン

省エネルギー設備や太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギーを活用した分散型のエネルギー設備を積極的に導入し、地域内で生み出されたエネルギーを次世代送電網(スマートグリッド)などを使って地域内に供給する環境に優しいまちのこと。

■ エコノミー症候群

飛行機などの狭い座席に長時間座っていることから起きる疾患。足の血管内に血栓ができ、それが肺に流れ込んで胸痛、呼吸困難、心肺停止などの症状を起し、最悪の場合死に至る。

■ エンジェル税制

ベンチャー企業(新しい分野でリスクを負いながら創造的な事業を実施する小企業)へ投資を行った個人投資家に対し税制上の優遇措置を行う制度のこと。

■ 応急仮設サポートセンター

応急仮設住宅における要介護高齢者等の安心した日常生活を支えるため、高齢者等に対する総合相談、デイサービスや生活支援サービスなどを提供する機能を有する拠点施設。

【か行】

■ 旧石巻ハリストス正教会教会堂

石巻ハリストス正教会は、1880年竣工の旧会堂である聖使徒イオアン会堂が1978年の宮城県沖地震により被害を受けた後、同名の聖堂が新築されたことに伴い、旧会堂は石巻建青会の尽力で中瀬公園に移築復元され、石巻市の文化財となっている。なお、旧会堂は現存する日本最古の木造教会建築。

■ コーポラティブハウス

同一敷地に共同で住むことを希望するものが組合をつくり、住宅の設計から管理までを運営する集合住宅。各世帯の条件にあわせて個別に住戸を設計することが可能になる。協同組合住宅。

■ コミュニティ

人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域及びその人々の集団。地域社会。共同体。

■ コレクティブハウス

独立した居住領域のほか、居間や台所などを共同で使用できる空間を備えた集合住宅。住民同士の交流や子育て、高齢者などの生活支援に有効とされる。

■ コンバージョン

建物の用途を転用すること。オフィスビルを改修して居住用に用途を変更することなど。

■ コージェネレーション

熱と電気(又は動力)を同時に供給するシステムのこと。

■ 高度衛生管理(HACCP(ハサップ))

食品の原料の受け入れから製造・出荷までのすべての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理手法。

【さ行】**■ 災害公営住宅**

災害により住宅を全壊した被災者が入居するため、県や市が建設するほか、民間賃貸住宅の借上げなどにより提供する住宅で、復興推進計画に定められた期間内は入居者の収入要件が緩和される住宅。

■ 自然エネルギー

風力、太陽光、バイオマス、水力、地熱、太陽熱、河川・地下水、氷雪など、自然由来で環境負荷が小さく、再生可能なエネルギーを総称したもの。

■ 住宅地区改良事業

不良住宅が密集し、保安衛生等に関して危険又は有害な状況にある地区において、環境の整備改善を図り、健康で文化的な生活を営むに足る住宅の集団的建設を行うこと。

■ 新エネルギー

「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法」で定義されている、バイオマス、太陽熱利用、雪氷熱利用、地熱発電、太陽光発電などの再生可能エネルギーのこと。

■ スマートコミュニティ

太陽光や風力での発電など再生可能エネルギーを効率よく使い、環境負荷を抑える次世代環境都市。情報通信技術を活用して効率的に電力利用の需給バランスをとり、生活の快適さと電力の安定供給を実現する次世代電力送配電網(スマートグリッド)などが中核技術となる。

■ 生活習慣病

心臓病・高血圧症・糖尿病・癌・脂質異常症など、不適切な食事、運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣に起因すると考えられる病気。

■ 生活不活発病

特定の器官を長期間、動かさないでいることによって生じる障がい。他の疾病の治療のための安静状態や、高齢で動けなくなるなどが原因。筋萎縮・筋力低下などの運動機能障がいや臓器の障がい、床擦れなど。廃用症候群。

■ ソーシャルワーカー(社会福祉援助専門員)

病気や障がい、高齢または経済的な理由等によって生活上の困難を抱えている人たちに対して、相談・援助等の支援を行う人のこと。国家資格を持つソーシャルワーカーを社会福祉士という。

【た行】**■ 多文化共生社会**

文化的に異なる人々が、互いの文化的違いを認め、対等な関係を築こうとしながら、ともに生きていく社会のこと。

■ ダンベルリーダー

震災の影響で運動が不足する人に、ダンベルを使用し適度な負荷をかける運動を安全に行うことを指導する人。

■ 地域優良賃貸住宅整備事業

公営住宅を補完するため、災害被災者世帯や高齢者世帯等が入居する民間賃貸住宅に建設費の一部補助や家賃低廉化の助成を行い優良な住宅の供給を促進させる事業。

■ ツーリズム

近年、体験型観光を物見遊山的な観光とは区分するようになっている。環境に配慮したエコツーリズムや、山や森などを扱うグリーンツーリズム、海を扱うブルーツーリズムなどがある。

■ 東北B-1 グランプリ

B級グルメ(地域に根付いている安価で日常的に食べられている庶民的な飲食物)を利用した地域おこしの一環として、東北各地のグルメを持ち寄ってグランプリを競う大会。

【は行】**■ バイオマス**

再生可能な生物由来の有機性エネルギーまたは資源。

■ バックアップ

故障等に備え複製しておくこと。また、代替を用意しておくこと。

■ ハザードマップ

防災を目的に、災害に遭う地域を予測し表示した地図。

■ PFI

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法のこと。「Private Finance Initiative」の略語。

■ PPP

官と民がパートナーを組んで事業を行う、新しい官民協力の形態のこと。「Public Private Partnership」の略語。

■ 被災地応援ファンド

被災企業を支援するために、金融庁の認可を受けた運営会社が出資を募集し、出資額の1/2を寄付金に、残り1/2が投資になる。投資には一定期間売り上げに応じた分配金が支給される。

■ ブランドネーム

製品の構成要素のうち、その製品や企業に関するあらゆる印象や体験の蓄積を意味する。売り手もしくは売り手集団の財やサービスを識別させ、競合他社の財やサービスと区別するための名称、言葉、記号、シンボル、デザイン、あるいはそれらを組み合わせたもののこと。

■ プロムナード

「散歩」あるいは「散歩の場所」のこと。

■ ビジネスマッチング

企業の事業展開を支援する等の目的で、事業パートナーとの出会いを支援すること。

■ ブルーツーリズム

島や沿海部の漁村に滞在し、魅力的で充実した海辺での生活体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる余暇活動の総称。海辺での新しい余暇活動を提案するとともに、それらを通じて、都市住民との交流、地域に誇りを持つこと、新サービス産業の創出や地場産業の育成、国民の海の利用におけるルール遵守とマナー向上を目指している。漁業体験、漁村の生活体験、海の自然観察を中心とした様々なメニューが各地の海辺で企画され、実施されている。

■ 防災集団移転促進事業

津波災害により被災した区域のうち、住民の居住に適当でないと認められる区域内にある住居の集団の移転を促進するため、市が安全な場所に住宅地を造成・確保し、賃貸又は譲渡により提供し、住民が自ら住宅を建設するもの。

■ ポートセールス

船舶や貨物の誘致のため、関連企業等に港湾を利用するメリットの説明を行い、あわせて利用者のニーズを把握し、施設整備や管理運営の改善に反映させていくもの。

【ま行】**■ マリンバイオマス**

バイオマス(は行参照)のうち、海藻等に由来するものを指す。種類が多様で地域特性に差がある、季節変動が大きい、塩分・水分を多く含んでいる等の特徴を有している。未利用の部分が多いことから、それらからの有用成分の抽出やエネルギー変換による利用が期待されている。

■ 木質バイオマス

バイオマス(は行参照)のうち、木材からなるものを指す。樹木の伐採や丸太の生産に伴って発生する枝葉や低質材などの森林由来のもののほか、製材、合半、集成材工場等の木材加工工場の製造過程で発生する樹皮、端材及びのこ屑などの工業由来のものや、住宅の解体材や街路樹の剪定枝など生活由来のものがある。

■ モニタリング

監視すること。観察し、記録すること。

■ モニュメント

記念建造物、記念碑、記念像、遺跡。

【ら行】**■ ライフライン**

生活、生命を維持するための水道、電気、ガス、通信などのネットワークシステムのこと。

■ リスク分散

何らかの危険性が伴うような時に、その危険性を最小限に抑えるために行う管理運営手法の一つ。例えば、重要なデータを複数の場所で管理・保管し、1か所が損傷しても他の箇所のデータで緊急時でも業務が続けられるようにすること。

■ 6次産業化

農林漁業者が、単に生産だけではなく、加工、流通販売にも主体的かつ総合的に関わることによって、付加価値を農山漁村地域に生み出し活性化するもの。

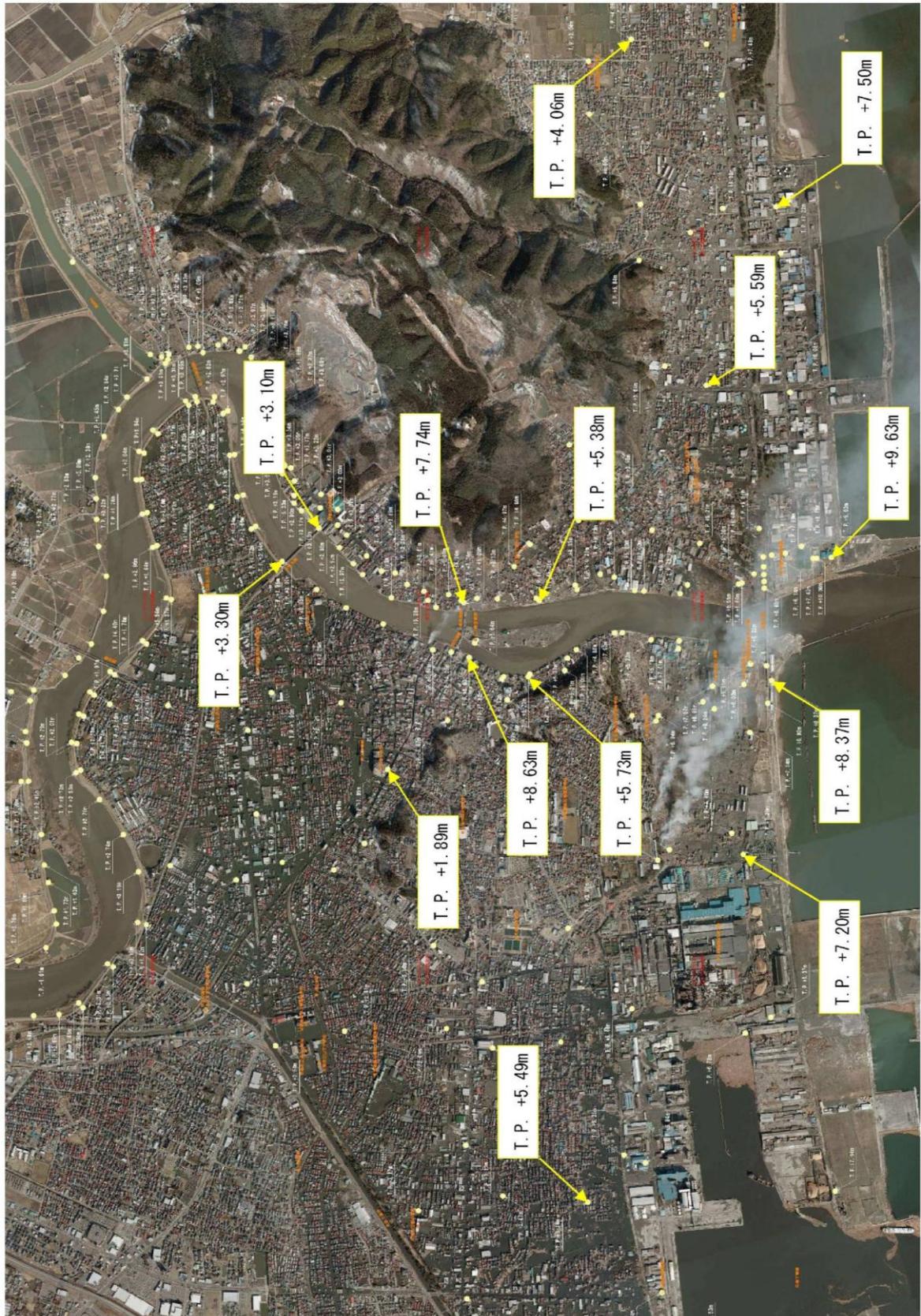
【わ行】**■ ワンストップ**

1か所で用事が足りること。1か所で何でも揃うこと。

2. 津波遡上痕跡調査

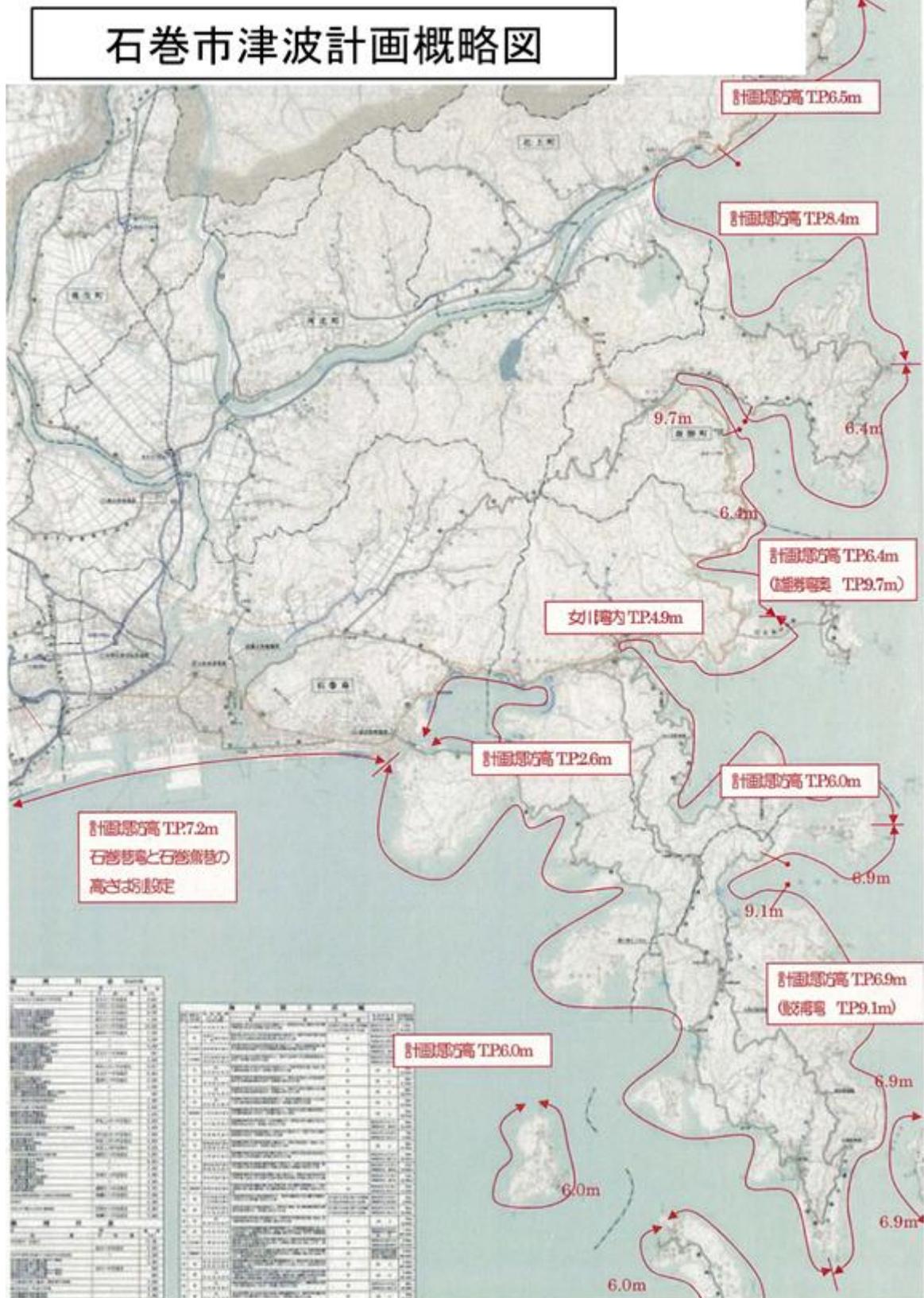
▼津波遡上痕跡調査図(旧北上川) ※暫定

出典：国土交通省



3. 石巻市津波計画概略

出典：宮城県



4. 津波シミュレーション

▼最大浸水深分布図

